

相双宮農通信

第6号

令和2年7月

福島相双復興推進機構（福島相双復興官民合同チーム）からのお知らせ

震災から9年が経過しました。福島県相双地域の各地では、宮農再開に向けた取組を実施しており、官民合同チームでは活動を支援しています。（支援の内容については裏面をご覧ください）全国では、新型コロナウイルスの影響で大変不自由な生活が続いています。「農業で日本を元気に！」頑張っている農業者の皆さんの取組について紹介します。

浪江町酒田地区で酒米の栽培始まる！（浪江町）

浪江町酒田地区の半谷 啓徳様は、震災後に父親が宮農再開する姿を見て自分も農業をやりたいと決意。平成31年4月から新規就農者としてご両親とともに水稻の栽培を始め、現在は管理耕作組合*の代表として酒田地区で営農しています。

今年は**地元の酒造メーカーより酒米の注文を受け、酒米を4ha作付**しました。来年には浪江町で作られたお米から美味しい日本酒が販売される予定です。

浪江町では、令和2年度は約80haの水稲作付を予定していますが、官民合同チームでは、さらなる作付面積拡大に向けて、引き続き浪江町やJAと協力し支援してまいります。

* 官民合同チームでは管理耕作組合の設立についても支援しています



酒田地区の田植え後の風景

葛尾村からいちよう芋を届けます！（葛尾村）

葛尾村の阿部 登様は、避難先で「いちよう芋」と出会い、平成29年に葛尾村へ帰還後「いちよう芋」の作付を始めました。

いちよう芋は長芋よりも歯ごたえが良く粘りもあり、名前のとおり特徴的な形をしています。

現在は、官民合同チームがマッチングした岡山県の飲食店へ出荷されています。

阿部様のいちよう芋は非常に品質が良く、飲食店様から大変好評を得ています。

阿部様は「農業で葛尾村を元気にしたい！」と意欲も持たれて元気に活動されており、官民合同チームとしても引き続き応援してまいります。



葛尾のいちよう芋

富岡町の大手スーパーに地場産品コーナーが登場！（富岡町）

官民合同チームでは、農産品の地産地消に向けた取組を推進してまいりました。このほど、**富岡町の大手スーパー**に本取組について御賛同頂き、**地場産品コーナーが設置**されました。

初日である7月3日には、隣の川内村でブルーベリーを扱う「ながさわブルーベリー園」様が第一弾として出品されました。

他にも、川内村でエゴマや農産加工品を扱う（株）緑里様の出品も予定しており、**市町村を超えたネットワークを構築**することが出来ました。

官民合同チームでは、引き続き地域の農産品の地産地消に向けた取組を支援してまいりますので、お気軽にご相談ください。



大手スーパーの出品の様子

福島相双復興推進機構（福島相双復興官民合同チーム）とは？

被災された事業者を個別訪問し、相談型のご支援を行うため創設された組織です。国、福島県、福島相双復興推進機構の三者で福島相双復興官民合同チームを構成しています。

そのうち、**営農再開グループ**では、東北農政局、福島県、福島相双復興推進機構の三者による農業者の個別訪問を実施しています。

個別訪問：営農再開グループ員が農業者様に個別訪問し、営農再開に向けての課題や農地利用予定等について、お話を伺います。

対象市町村：田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、葛尾村、双葉町、浪江町、飯舘村

対象となる方：震災時に上記市町村で農業を行われていた方
今後上記市町村で新たに農業を行う方



お伺いした内容をふまえて、ご要望に応じた支援を無料で行います

農産物販売の悩みに対応します！

「生産拡大したいが販売先がない」
「震災後下落した価格を回復させたい」
このようなお悩みには、専門家を派遣して販路開拓のご支援をします。

農業技術の悩みに対応します！

「どの作物を栽培すべきかわからない」
「作物がうまく栽培できない」
このようなお悩みには、普及指導員などによる技術的なご支援をします。

制度活用時の悩みに対応します！

「補助金の申請方法がわからない」
「農業法人設立の進め方がわからない」
このようなお悩みには、訪問員がアドバイスをを行います。

その他の取組

地域・集落での営農再開に向けた取組の支援

今後の担い手不足に対応するため、地域の中核として営農を続ける農業者の方への農地集積が円滑に行われるよう、市町村やJAと連携して農地のマッチングなどの支援活動を実施しています。

畜産の再開に取り組む事業者のネットワーク構築

震災によって失われた畜産事業者のネットワークや耕畜連携を復活するため、官民合同チームが各種企画（セミナーや先進地見学会、現地検討会等）を実施しています。

農地利用の意向確認

所有している農地の今後の利用意向についてもお聞きしています。農地貸出希望の方につきましては、今後市町村や担い手の方と連携し、貸出についてサポートさせていただきます。

福島相双復興推進機構（福島相双復興官民合同チーム）

ご相談受付ダイヤル：024-502-1117

（受付時間9:00～17:00 土日祝日、年末年始を除く）

Webサイト <http://www.fsrt.jp>

公式SNSページはこちら→



Facebook



@kanmingoudouteam



Twitter



@kanmingoudou_T



原子力災害対策本部

